

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	情報リテラシー演習		
英文授業科目名	Exercises for Information Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	鈴木 和幸・山本 渉		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
山本	

【主題および達成目標】
<p>情報リテラシーと同様、システム工学科の基礎としてのコンピュータの利用方法を主題とします。本演習では、コンピュータの計算能力を利用するために必要な、プログラミング能力について、高級言語を用いることでロジックの部分に集中できることを期待し、数式処理言語Mapleを用いて、アルゴリズムのプログラミングやシミュレーションに関する課題を課します。</p> <p>目標は、コンピュータを用いて解決しなければ問題に行き当たったときに、プログラムを書いて解決できることを目指します。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
基礎プログラミング。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
システム工学科の一年次の専門基礎科目。

【教科書等】
毎回、資料を配付する。

【授業内容とその進め方】
プログラミング課題は、前半は基本的なプログラミング技法に終始し、後半の課題はシステム工学科に関連する話題から選択します。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

本科目は演習科目であるので、出席とレポートに基づいて、評価する。

- ・出席した回のレポートのみを評価する。期限を守らなかったレポートは、評価を50%引き下げることがある。
- ・出席回数が2/3に満たないもの、及びレポートの提出本数が2/3に満たないものには、単位を与えない。
- ・成績は各回の演習を終えて提出したレポートの点数の総和で評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。必要であれば、講義の前後にアポイントメントを取ること。

【学生へのメッセージ】

それなりの本数のレポートを提出する演習科目なので、一回できっちりと単位を取得してください。

【その他】